天食会（旧天塩町スローフードの会）

天塩の食を楽しむ会として、新たな会に生まれ変わる

活動分類 ■食・産業・観光

代表者：三國秀美（和食文化継承リーダー）
連絡先：
〒098-3304　天塩町新地通３丁目 1810
（天塩鍼灸指圧院内）
TEL：070-5599-1139
活動地区：天塩町

活動背景・目的

旧活動の理念を引き継ぎ、食文化の多様化と多文化との共生、「食」を通して未来に向かっていく取り組み。

2003年に結成された「天塩町スローフードの会」は試食会、メニュー開発など天塩町の食材を使い、多岐にわたる試みを実施してきたが、コロナ感染症拡大とともにそのあり方を時代に合わせる必要性が出てきた。改めて「食」を中心に個々が主体的に活動する場へとその目的を広くとらえなおし、文化継承型「食」に焦点をあてた活動へと変換することとした。

活動内容

・グループをつくり自立的な活動へ
まずは自分たち自身が活動することから食をとらえなおしている。おいしいものを食べること、山菜を集めること、自分で野菜をつくり料理すること。できることから気の合う仲間と少しずつ。定期的なリーダー会で実績を共有し、天塩町らしい食のあり方をそれぞれの視点から探求する。

・留萌管内の一員として
会は、町内に限らず積極的に留萌管内と連携している。天塩町の食をより豊かにするために学び、集い、食べる。遠別町協力隊との養蜂セミナーや留萌市萌美飯店とのコラボ忘年会などすでに多様化への足がかりを作り始めた。そうした機会から天塩町の食材や自分たちの活動を知ってもらう場へと発展させていきたい。

・郷土食からできること。離乳食から介護食まで
家庭の食卓のみならず、給食や多文化共生といった場面での食育など、離乳食から介護食までをどう郷土食から演出できるか、長期的なテーマとして共有し考える。例えば開拓汁、鮭の飯寿しやいもだんごなど身近で伝統的な食から歴史を知り新しい文化につなげる伴走者として会を継続したい。

今後の展望・課題など

○展望
・少子高齢化に耐えられる食文化を守る。地元食材で調理可能な離乳食から介護食まで、知恵を出し合い考えたい。

○課題
・雄信内に代表される集落地域との連携。とりこぼしのない天塩町食文化の継承が必要。